

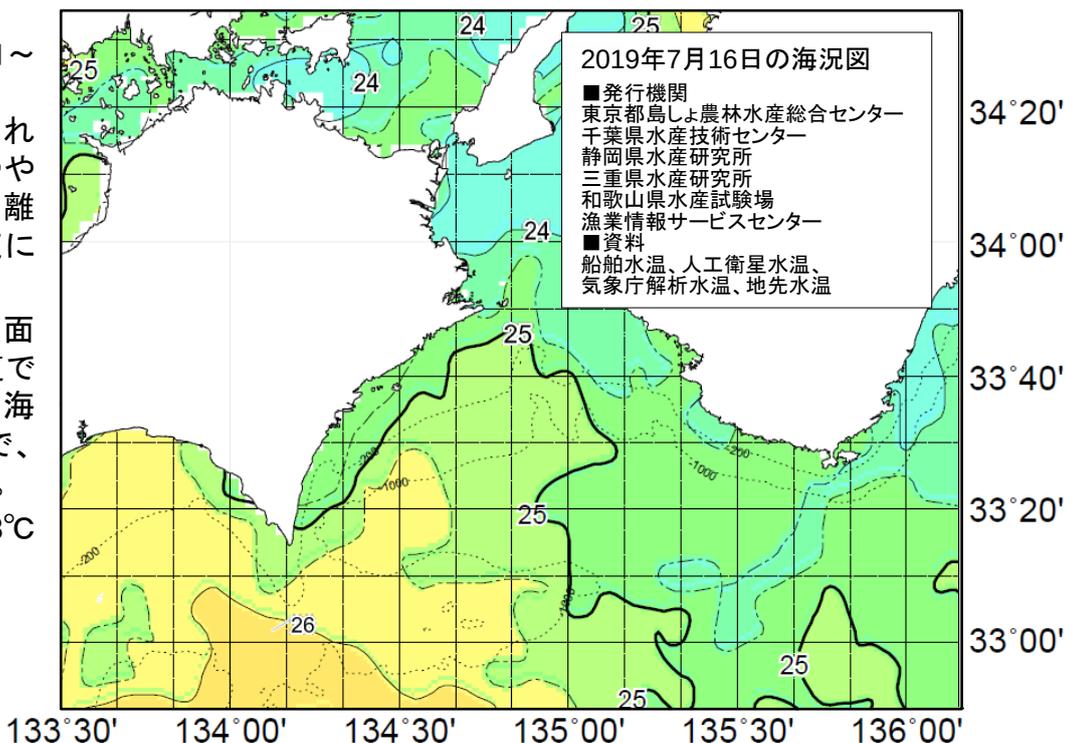
海況

1. 周辺海域の水温(7月9日～16日)

黒潮は、室戸岬沖では流れがへの字型になっており「やや離岸」、潮岬沖では「著しく離岸」で北緯32度以南を南東に流れている。

16日現在の徳島沿岸の表面水温は、播磨灘と紀伊水道では23～24℃台となっており、海部沿岸では24℃～25℃台で、沖合に暖水波及が見られる。

黒潮の表面水温は27～28℃台となった。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸:～25NM やや離岸:25～45NM 離岸45～65NM 著しく離岸:65NM～
潮岬沖 接岸:～26NM やや離岸:25～56NM 離岸56～86NM 著しく離岸:86NM～

(いずれも正南方向)

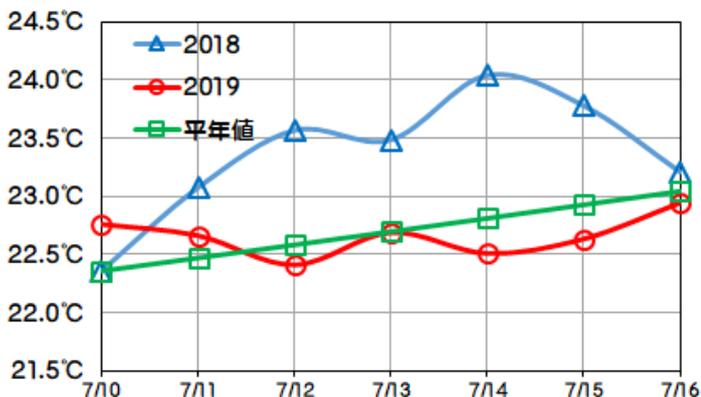
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、直近4日分を掲載しています。

2. 地先水温(7月10日～7月16日)

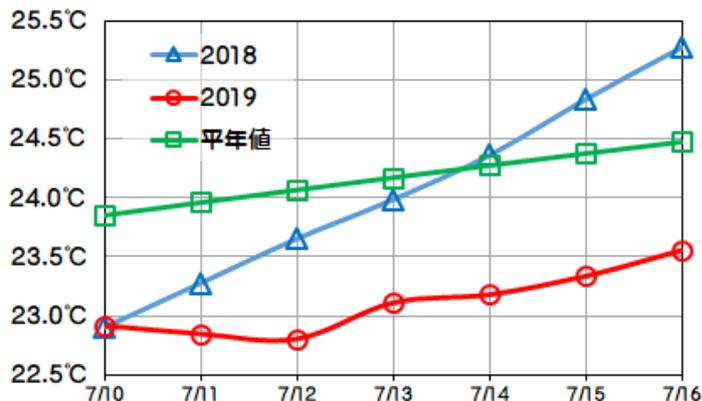
鳴門地区の水温は、「平年並み」の22.4～23.0℃で推移した。

日和佐地区の水温は、「やや低め」の22.8～23.6℃で推移した。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並:平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め:平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め:平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め:±2.5℃以上

※平年値 1982年～2016年の平滑平均値

3. 週間予報(7月17日～7月23日)

黒潮は、室戸岬沖で引き続き「やや離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「平年並み」の23℃前後、日和佐地区では「やや低め」の23℃台後半で推移する見込み。

漁況 2019年7月8日～2019年7月14日

船びき網のシラス漁が落ち込んだ一方で、海部沿岸の小型定置網でいわし類が獲れている。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網では、シラスが大きく減って18.8ト水揚げされた。

釣りでは、タチウオが特大主体に0.7ト、イサキが減って0.2ト水揚げされた。

延縄では、ハモが減って4.9ト、タチウオが減って0.9ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが小小主体に0.4ト、アイゴが0.4ト、ブリがめじろ級主体に0.3ト、イサキが大きく減って大主体に0.2ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが増えて4.6ト（160キ）水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

延縄では、アカムツが0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、マイワシが大きく増えて6.8ト、ウルメイワシが大きく増えて0.8ト、マサバが大きく増えて小主体に0.4ト、マアジが小小主体に0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲が0.1ト以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	75	シラス	18,750	250		↓↓
	釣り	25	タチウオ	734	29	特大主体	→
		13	イサキ	221	17	大主体	↓
	延縄	54	ハモ	4,919	91		↓
		51	タチウオ	865	17		↓
	小型定置網	18	マアジ	404	22	小小主体	→
		12	アイゴ	400	33		↗↗
		12	ブリ	349	29	めじろ級主体	↓↓
		15	イサキ	196	13	大主体	↓↓
		17	カワハギ	119	7	大主体	↓↓
		15	マダイ	105	7		↓↓
底びき網	29	ハモ	4,640	160		↑	
海部沿岸	釣り	12	イサキ	122	10		↗↗
	延縄	9	アカムツ	183	20		↗↗
	小型定置網	10	マイワシ	6,819	682		↗↗
		12	ウルメイワシ	780	65		↗↗
		6	マサバ	413	69	小主体	↗↗
		17	マアジ	267	16	小小主体	→
		5	かます類	151	30	小小主体	↗↗
		2	えい類	103	52		↗↗
		6	カンパチ	100	17		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↓ 50%未満:↓↓